令和５年度 事業実施報告

（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）

● 渉外部会

担当副会長	倉田　鋼志	西日本電信電話株式会社
部会長	福野　泰介	株式会社 jig.jp
副部会長	吉村　一男	インプロジャパン株式会社
副部会長	今村　善孝	大電産業株式会社
副部会長	田﨑　健治	ミテネインターネット株式会社
副部会長	中田　潤一	株式会社ドコモビジネスソリューションズ

1　行政機関および関連団体等との連携

（１）行政機関等との情報交換・交流

北陸情報通信協議会定期総会（４月２４日、金沢市、木下副会長）

福井県環境・エネルギー懇話会総会（６月７日、福井市、小森会長）

福井県経済界サマースクール（８月２２・２３日、敦賀市、小森会長ほか）

知事を囲む経団連加盟首脳会議（１月１５日、福井市、小森会長）

（２）関係団体等との交流

① 福井県ＩＴ産業団体連合会への参画

ア 役員会

第１回

開催日時：令和５年６月２６日（月）

開催場所：ザ・グランユアーズフクイ

議題：令和４年度事業報告および収支決算報告について

令和５年度収支予算案について

ＩＴフォーラム企画委員会の委員の改選について

ふくいＩＴフォーラム 2023 について

ふくいソフトウェアコンペティション 2023 の共催について

第２回

開催日時：令和６年１月２２日（月）

開催場所：ザ・グランユアーズフクイ

議題：令和５年度事業実施状況および収支状況報告について

令和６年度事業実施計画および収支予算について

新年賀詞交歓会について

イ 賀詞交歓会

開催日時：令和６年１月２２日（月）
開催場所：ザ・グランユアーズフクイ
出席者数：５３名（うち来賓７名）

② 福井県プロバイダー防犯連絡協議会への参画
開催日時：令和５年１２月１日（金）
開催場所：福井県警察本部葵分庁舎
議題：令和５年度活動報告、令和６年度活動予定など

③ 北陸情報通信協議会への協力
会員として参加し、協議会からの各種情報を会員に広報
情報通信月間行事に参加（通常総会後の講演会）

2 会員の拡充

新規会員：株式会社ＮＥＳＩ
復会会員：株式会社ＴＡＳ

3 セミナーの開催

開催日時：令和５年９月１９日（火）１５：３０～１６：４５
開催場所：アオッサ６０１Ｃ会議室
演題：「最近の情報通信政策の動き～自由で開かれたインターネットの発展に向けて～」
講師：総務省北陸総合通信局長 菱田 光洋 氏
参加者：２９名

4 部会の開催

日時：令和５年１２月５日（木）１６：００～１７：００
場所：㈱jig.jp およびオンライン
協議内容：「サイバーバレー」とスタートアップ事業創出について
SusHi Tech Tokyo in FUKUI の企画について

5 定期会合、サイバーフライデー 金曜日 19:00～22:00

2023 年 8 回開催 4/28、6/23、7/28、8/25、9/29、10/27、11/24、12/29
2024 年 3 回開催 1/19、2/16、3/22

● 総務・企画部会

担当副会長	藤井　孝	アイビーエージェント株式会社
部会長	藤本 潤一	株式会社バリューリンクス
副部会長	東 郁雄	株式会社ビジュアルソフト
副部会長	野口 邦治	株式会社福井新聞社
副部会長	佐野 慎治	福井ネット株式会社
副部会長	岡田 英男	三谷商事株式会社

1 各種会議の開催

（１）第４８回通常総会等の開催

開催日時：令和５年５月２２日（月）１６：１５～１７：００

開催場所：ザ・グランユアーズフクイ

① 通常総会

議題：令和４年度事業実施報告及び令和５年度事業計画に関する件
令和４年度収支決算報告及び令和５年度収支予算に関する件
補欠の理事の選任に関する件

出席者：４０名（うち委任状８名）

② 講演会

演題：オールジャパンで挑戦者を応援する社会をつくる

講師：東京都副知事 宮坂 学 氏

参加者：６１名

③ 懇親会

参加者：４０名

（２）理事会の開催

第２９９回理事会（４月７日、開花亭）
第３００回理事会（５月２２日、ザ・グランユアーズフクイ 瑞雲）
臨時理事会（５月２２日、ザ・グランユアーズフクイ ロビー）
第３０１回理事会（６月１６日、アオッサ６０１Ａ会議室）
第３０２回理事会（９月１９日、アオッサ６０１Ｂ会議室）
第３０３回理事会（１２月７日、グランディア芳泉）
第３０４回理事会（２月２７日、福井県繊協ビル６０４号室）

2 ふくいＩＴフォーラム２０２３への参画

福井県ＩＴ産業団体連合会主催の「ＩＴフォーラム２０２３」の企画委員として、企画・運営等に参画した。

企画委員会：第１回　令和５年４月１９日（水）　福井県産業情報センター会議室Ａ
第２回　令和５年８月７日（月）　福井県産業情報センター会議室Ａ

第３回　令和５年１０月４日（水）　福井県産業情報センター会議室Ａ
（＋オンライン）
第４回　令和６年１月３０日（火）　福井県産業情報センター会議室Ａ
（＋オンライン）
ワーキング　令和５年８月３０日（水）　オンライン
出展者説明会　令和５年９月１２日（火）　オンライン

※ ふくいＩＴフォーラム２０２３
開催期間：令和５年１０月１９日（木）・２０日（金）
開催場所：福井県産業会館、福井県中小企業産業大学校
出展者数：３６企業・団体（５６小間）
セミナー　：「中小企業向け ChatGPT・生成ＡＩ活用セミナー」
伊本 貴士 氏／芥子 育雄 氏
学生向けイベント：ＩＴフォーラムガイドツアー 参加者１１４名
来場者数：18,377 名（初日 8,822 名、最終日 9,555 名）

3 会員に対する各種情報の提供

国、県および各種団体からの公募、講演会、研修会等の情報を会員に提供した。

4 福井労働局が実施する事業への協力

福井労働局からの委嘱を受け、労働者派遣事業適正運営事業協力員を派遣した。
協力員：人材確保・育成部会長　向井 邦彦 氏

5 会員交流会の開催

会員相互の親睦と交流を促進するため、会員交流会としてゴルフ大会を開催した。
開催日：令和５年１０月２８日（土）
開催地：芦原ゴルフクラブ 湖コース
参加者：２０名

6 工業会パンフレットの制作

前回制作から４年が経過し、内容をアップデートする必要があるため、工業会パンフレットを制作した。
Ａ３判２つ折＋Ａ４判別紙、１０００部

7 部会の開催

開催日時：令和５年６月７日（水）１０：００～１１：００
開催場所：アオッサ６０４会議室
検討議題：令和５年度事業計画について
ふくいＩＴフォーラム 2023 について
会員交流会について

● 技術部会／ＡＩ委員会

技術部会

担当副会長	木下　克則	株式会社Ｋ２アドバンスト
部会長	後　　淳也	三谷コンピュータ株式会社
副部会長	河原　洋士	日本電気株式会社福井支店
副部会長	佐藤　浩一	福井コンピュータホールディングス株式会社
副部会長	大島　恵美子	富士通 Japan 株式会社

ＡＩ委員会

委員長	後　　淳也	三谷コンピュータ株式会社
副委員長	佐藤 浩一	福井コンピュータホールディングス株式会社

1　福井工業大学 AI ＆ IoT コンソーシアムへの参画

（１）シンポジウム

福井工業大学 ChatGPT テクノロジーイベント

６月２３日（金）

（２）福井工業大学 AI&IoT センター視察

令和５年９月６日（水）１０：００～１２：００

参加者　２２名

（３）大規模言語モデル活用ワーキンググループへの参画

第１回　9月２１日（木）　福井工業大学およびオンライン

第２回　１０月２６日（木）福井工業大学およびオンライン

第３回　１２月２０日（水）　福井工業大学およびオンライン

第４回　1月３１日（水）福井工業大学およびオンライン

2　関係機関等との連携

ＩＴ関連の展示・発表会やセミナー等について、後援等を行った。

第７回越前がにロボコン	福井県こどもプログラミング協議会
EdgeTech+West 2023	（一社）組込みシステム技術協会
ふくいＩＴエンジニア養成スクール	（公財）ふくい産業支援センター
越前市ドローンプログラミングチャレンジ	金沢工業大学（実行委員会）
Matching HUB Kanazawa 2023	北陸先端科学技術大学院大学
いしかわ情報システムフェア	（一社）石川県情報システム工業会
ＩＴ経営カンファレンス 2023 in 福井	ＮＰＯ法人福井県情報化支援協会
北陸情報通信講演会	総務省北陸総合通信局

福井工業大学 ChatGPT テクノロジーイベント	福井工業大学
福井工業大学 AI&IoT コンソーシアムシンポジウム	福井工業大学
サイバーセキュリティデイズ 2024	国立研究開発法人情報通信研究機構
サイバーセキュリティ地域別セミナーin 福井	（一社）関西情報センター

3 セミナーの開催

開催日時：令和５年６月１６日（金）１５：３０～１７：００
開催場所：アオッサ６０１ＢＣ会議室
演題：ＡＩ言語処理（大規模言語モデル）について
講師：三谷コンピュータ㈱代表取締役社長 後 淳也 氏
　　福井工業大学 AI & IoT センター長 芥子 育雄 氏
参加者：６８名

4 部会・委員会の開催

開催日時：令和５年８月３日（火） １０：００～１１：００
開催場所：三谷コンピュータ㈱＋オンライン
検討議題：大規模言語モデルワーキンググループについて
　　福井工業大学 AI&IoT センターの視察について
　　今後の活動について

令和 6 年 3 月に AI 委員会・技術部会の MS Teams Team を作成

令和 6 年 3 月に AI 委員会・技術部会合同アンケートを実施

・AI 委員会・技術部部会の一体運営の賛否は賛成多数
（100%一体運営希望 11 /13 名、 70%一体運営希望 2/13 名、反対 0 名）
→ ただし理事会での意見により、完全一体運営はしないことが確定

・AI 委員会・技術部部会の MS Teams についてはアンケート回答者 13 名中 9 名しか
アクセスできず。オンラインでのチーム運用は MS Teams では難ありか

・次年度セミナーは、「OpenAI 等の LLM の API 利用」の希望が最多。
次点は、昨年同様の内容・ソフトウェア開発工程への LLM の応用

・視察（複数回答）は「近隣県」「日帰り」の希望が強く、リモートも 1 票差の 3 位
訪問先は、企業訪問がトップ。大学・産総研が 1 票差の次点

● 人材確保・育成部会

担当副会長	小山 嘉雄	株式会社永和システムマネジメント
部会長	向井 邦彦	福井システムズ株式会社
副部会長	濱　義弘	パワーシステム株式会社
副部会長	新山 史朗	株式会社江守情報
副部会長	品川 祥郎	北信テレネックス株式会社福井支店
副部会長	土谷 秀靖	株式会社マルツ電波

1 ふくいソフトウェアコンペティション２０２３への参画

（公財）ふくい産業支援センターが行う「ふくいソフトウェアコンペティション」について、審査員の派遣や賞の供与などに協力した。

※ふくいソフトウェアコンペティション２０２３

日程：応募締切　令和５年１０月２７日（金）

予備審査　令和５年１１月２６日（日）

本審査／表彰式　　令和５年１２月２３日（土）

応募作品：２７点

入賞作品：１２点（福井県ＩＴ産業団体連合会会長賞など）

審査委員：藤井 孝 氏、 東 郁雄 氏

2 学生を対象とした人材確保

（１）大学への講師派遣

① 福井大学

工学部「ソフトウェア工学」（３・４年）

「会社経営の視点から見たソフトウェア工学」江守情報㈱　新山 史朗 氏

「開発現場におけるソフトウェア工学の実践的側面」永和システムマネジメント㈱ 岡島 幸男 氏

② 福井県立大学

学術教養センター「情報科学」（１年）　まるおかディジタル㈱ 佐藤 英治 氏

情報センター「プログラミング」（全学年）　㈱jig.jp 福野 泰介 氏

情報センター「情報処理基礎演習」（全学年）　ユニコシステム㈱ 藤澤 栄蔵 氏

経済学部「キャリアデザイン特論」（１年）　三谷コンピュータ㈱ 後 淳也 氏

（２）学生へのＩＴ業界の情報提供

① 福井大学学生への事業説明会

日時：令和６年１月１９日（金）１６：１５～１７：１５

会場：福井大学文京キャンパス

内容：本県ＩＴ産業の紹介および会員企業による事業説明

参加企業：８社
参加学生：９０名

② 福井大学ＯＢと学生の交流会
日時：令和６年１月１９日（金）１７：３０～１９：００
会場：福井大学文京キャンパス
内容：会員企業で働く若手社員（福井大学ＯＢ）と学生との懇談
参加企業：１０社（２１名）
参加学生：２３名

③ ＩＴフォーラムにおける学生対象のイベント（前掲：総務・企画部会）
ＩＴフォーラムガイドツアー 参加者１１４名
ＩＴ業界情報コーナー

3 セミナーの開催

開催日時：令和６年２月２７日（火）１５：３０～１６：４５
開催場所：福井県繊協ビル６０３号室
開催内容：第１部：採用力向上セミナー～新卒学生や若い求職者が求めるもの
講師：株式会社マイナビ 就職情報事業本部北陸営業部 尾田 拓海 氏
第２部：福井工業大学キャリアセンターとの意見交換
参加者： ２９名

4 部会の開催

開催日時：令和５年１２月１８日（月）１４：００～１５：００
開催場所：工業会事務室＋オンライン
検討議題：人材確保・育成施策について
福井大学事業説明会および交流会について
人材の高度化補助金について
理事会開催時におけるセミナーについて

● ＤＸオープンラボ運営委員会

委員長	小山 嘉雄	永和システムマネジメント株式会社
副委員長	中田 潤一	株式会社ドコモビジネスソリューションズ

（公財）ふくい産業支援センターからの委託を受け、ふくいＤＸオープンラボの管理運営および関連事業を実施した。

1 来館者および相談者への対応

来館者：延べ３，３２７名

相談件数：２０５件

2 勉強会・研究会の開催

勉強会・研究会：３０回（参加者６１０名）

3 展示コーナーの企画

①「RealWare」（㈱ドコモビジネスソリューションズ）＋「WorkfloPlus」（㈱江守情報）

※現場作業向けのスマートグラスと設備点検や保全などの業務支援モバイルアプリケーション

②「ARCHITREND VR」（福井コンピュータ㈱）

※住宅・建築を可視化するバーチャル空間体感システム

③「空間ディスプレイ」（㈱ドコモビジネスソリューションズ）

※非接触ディスプレイ端末

4 ＩＴ企業紹介・マッチング

ベンダー紹介実績：１件（飲食業）

マッチング用 Slack アカウント登録者数：８社

5 ふくいＩＴフォーラムへの出展

ふくいＩＴフォーラムにＤＸオープンラボのブースを出展（10/19～20、福井県産業会館）

展示物：ＶＲグラス３台、ロボホン１台、ＤＸ相談窓口の設置

来訪者：３０５名

6 定例会、委員会の開催

（１）定例会（県および産業支援センターとの打合せ会議）

４月１３日、5月１２日、6月１４日、7月１４日、8月１７日、9月２０日、１０月２７日、１１月２０日、１２月１８日、1月１８日、2月１９日

（２）委員会

９月１３日（水） オンライン

展示コーナーおよび勉強会の企画について

９月２７日（水）　オンライン

展示コーナーおよび勉強会の企画について

● 越前がにロボコン実行委員会

委員長	土谷 秀靖	株式会社マルツ電波
副委員長	松田 由美子	スピリッツ・スマイル

第７回越前がにロボコンの概要

1. 開催日　令和５年１１月１９日（日）10：15～16：00
2. 会　場　敦賀市立看護大学 体育館
3. 主　催　福井県こどもプログラミング協議会
4. 共　催　（一社）福井県情報システム工業会
5. 後　援　総務省　福井県　福井県教育委員会　福井商工会議所
   福井大学　福井工業大学　福井工業高等専門学校
   NHK 福井放送局　FBC　福井テレビ　福井県機械工業共同組合
6. 大会の目的

福井県の冬の味覚の王様「越前がに」を県内外に広くアピールするとともに、子どもたち（小・中学生）が自律型ロボットを制作し自動制御させることにより、科学技術を身近に体験してもらう機会を提供する。また、2020 年から小学校で開始された「プログラミング教育」への興味を養う。

7. 大会の内容

市販ロボットキットを使って自作したロボットで競技に挑戦する。ロボットの形状がカニがイメージ出来るものであること。モーター・センサー（光、タッチ、超音波）・機構を使い。決められたコースを自動で走行させミッションの達成度とタイムを競う。

▶ エントリー部門

小学生のみ対象。ロボットの機構に制限は無し。レアメタルの位置が事前に告知されている。激レアメタルの個数は１個。

▶ 歩行型ロボット部門

小・中学生対象。歩行型のロボットであること。レアメタルの位置は当日に告知される。激レアメタルの個数は３個。

▶ オープン部門

年齢制限なし。歩行型のロボットであること。レアメタルの位置は当日に告知される。激レアメタルの個数は３個。宇宙ウイルスを持ち帰ると減点。

第７回越前がにロボコン開催結果

越前ロボコンへの参加者を募るため、昨年同様に県内で開催しているロボコン教室と小中学校に協力をお願いした。４教室からの参加と WEB からの個人参加７チームを含めて、エントリー部門：１１チーム、歩行型ロボット部門：８チーム、オープン部門：４チームの合計２３チーム、２３名が参加した。

１０：４５から予選を行い、１３：００より本選を行った。

エントリー部門、歩行型部門よりそれぞれ優勝ならびに準優勝、オープン部門、デザイン部門優勝の各チームに賞が贈られた。

▶ エントリー部門

優勝：山本　泰地　　黒河小５年　嶺南地区ロボコン競技推進会

２位：山本　佳那　　附属小６年　NS クラブ

▶ 歩行型ロボット部門

優勝：小島　大空　　有終南小５年　個人

２位：笹木　禅仁　　武生西小６年　PCN 武生

▶ オープン部門

優勝：松田　優一　　個人

▶ デザイン部門

優勝：山本　佳那　　附属小６年　NS クラブ

● ゼロトラスト委員会

委員長	福野 泰介	株式会社 jig.jp
副委員長	帝都 久利寿	コネクトフリー株式会社

活動方針

次世代のゼロトラストの活用方法をディスカッションし、新事業創出につなげる。

越前市について、ガバメントクラウド移行で懸念があり、ゼロトラストを活かしたモデルを検討中であり、全国の先駆けを目指す。

活動実績

１０月８日（日）　ＩＧＦ京都にて Internet3 セッションに参加

１２月５日（木）　委員会の開催

協議内容：「サイバーバレー」とスタートアップ事業創出について

SusHi Tech Tokyo in FUKUI の企画について

２月２６日（火）　北陸総合通信局 地域デジタル基盤活用推進事業 事前相談

令和６年度 事業計画（案）

（令和６年４月１日～令和７年３月３１日）

● 渉外部会

福井県を含む、北陸を日本の西海岸、サイバーバレーを呼称し、情報関連新技術の啓蒙・活用・スタートアップの推進・交流を通じて、行政機関、関連団体、他産業との連携を強化し、福井県の発展を図る。

事業概要

1．行政機関および関連団体等との連携

2．会員拡充

毎月、最終金曜日夜、技術と交流の場、サイバーフライデーの福井県内での開催
（県内外スタートアップ事業者の召喚、会員拡充、部会共有）
入会勧誘リストを作成し、パンフレットの送付や訪問を実施

3．セミナーの開催

会員の資質向上に向けた、理事会に合わせたセミナーの開催

4．北陸県内の展示会出展協力・参加

（越前がにロボコン、加能がにロボットコンテスト、魚津紅ズワイロボコン、越後本ズワイカニロボコン）

● 総務・企画部会

県内情報関連業界の向上発展を図るための事業を企画・推進する。

事業概要

1 総会、理事会等の開催

（１）定時総会の開催（令和６年５月２７日（月）ザ・グランユアーズフクイ）

（２）理事会の開催（年６回程度開催予定）

（３）正副会長会議の開催（随時）

2 ふくいＩＴフォーラム２０２４への参画

福井県ＩＴ産業団体連合会が主催する「ふくいＩＴフォーラム２０２４」の企画委員として、企画・運営等に参画する。

※ふくいＩＴフォーラム２０２４（予定）

開催期間：令和６年１０月１７日（木）・１８日（金）

開催場所：福井県産業会館、福井県中小企業産業大学校

3 会員に対する各種情報の提供

国、県および各種団体からの公募、講演会、研修会等の案内情報を会員に提供する。

4 福井労働局が実施する事業への協力

福井労働局からの委嘱により、労働者派遣事業適正運営事業協力員を派遣する。

協力員：人材確保・育成部会長 向井 邦彦 氏

5 会員交流会の開催

工業会会員相互の親睦と交流を促進するため、交流会を開催する。

6 理事会のオンライン対応

理事会について、社会情勢の変化などを踏まえ、必要に応じてオンライン参加を認めるための検討を行い、試行する。

7 その他の検討事項

ＦＡＳ４０周年記念事業の企画準備

青年部会の立上げの検討

8 部会の開催

事業の企画および実施状況確認のため、部会を年２回程度開催する。

● 技術部会

ＡＩ委員会と連携し、業界に必要な高度な人材の育成、新技術や経営に関する研修・セミナー・シンポジウム等を実施することにより、技術力の向上と業界基盤の確立を図る。

事業概要

1　技術者向け講習会の開催

会員各社の技術者を対象に、業界の課題、必要とする技術をテーマに講習会を開催する。

2　先進企業等への視察研修の実施

最新の技術・知識および情報の収得を目的に、先進企業等への視察研修と意見交換会を実施する。

3　産学官連携の推進

福井工業大学 AI ＆ IoT コンソーシアムに、学外ボードメンバーとして参画するとともに、福井工業大学 AI ＆ IoT センターと連携し、シンポジウム、研究会等に参画する。

4　関係機関等との連携

ＩＴ関連の展示会やセミナー等への後援、関係機関への委員の派遣などを行う。

5　セミナーの開催

理事会等の開催に併せ、時宜にかなったテーマを選定してセミナーを開催し、会員の資質向上を図る。

6　部会の開催

事業の企画および実施状況確認のため、部会を年 2 回程度開催する。

● 人材確保・育成部会

高度な人材の確保と育成を図るとともに、会員企業における雇用管理改善に取り組む。

事業概要

1 ふくいソフトウェアコンペティションへの参画

（公財）ふくい産業支援センターが行う「ふくいソフトウェアコンペティション」について、審査員の派遣や賞の供与などに協力する。

2 学生を対象とした人材確保事業の実施

（１）大学への講師派遣

福井大学、福井県立大学の情報関連講座に講師を派遣する。

（２）事業説明会および交流会の実施

福井大学および福井工業大学の学生を対象に、事業説明会および交流会を実施する。

（３）ＩＴフォーラムにおける学生イベントの実施

ＩＴフォーラム企画委員会と連携し、ＩＴフォーラムにおいて学生を対象とするイベントを実施する。

3 セミナーの開催

理事会等の開催に併せ、時宜にかなったテーマを選定してセミナーを開催し、会員の資質向上を図る。

4 部会の開催

事業の企画および実施状況確認のため、部会を年２回程度開催する。

●　ＤＸオープンラボ運営委員会

（公財）ふくい産業支援センターから委託を受け、「ふくいＤＸオープンラボ」において、ラボの運営管理、県内企業等からの相談対応、マッチング支援等を実施し、本県のＤＸ技術の普及を促進する。

実施業務

１　ラボ運営業務

（１）来訪者や見学者への対応
（２）展示物の維持管理
（３）ラボに関する情報発信など

２　相談対応業務

（１）来訪者からの相談に対する助言
（２）相談受付および相談管理
（３）相談者の発掘およびフォローアップ

３　マッチング支援業務

（１）情報収集および提供
（２）マッチング支援

４　その他

「ふくいＩＴフォーラム」にラボを紹介するブースを設ける。
マッチングを円滑に進めるため、福井産業支援センターが所管する「福井県ＩＴ企業リスト」への登録を促進する。

実施体制

相談マネージャー（年１８０日）および運営スタッフを配置
定例会（月１回）および委員会（随時）を開催

● 越前がにロボコン実行委員会

「第８回越前がにロボコン」および「第１回ご当地こどもロボコン全国大会」について、共催者として事業に協力する。（協力金と受付・会場設営などの人的支援）

第８回越前がにロボコン

開催日　　令和６年１２月７日（土）、８日（日）（予定）
※７日は準備で大会は８日
会　場　　仁愛大学体育館（越前市）（予定）
主　催　　福井県こどもプログラミング協議会
共　催　　(一社)福井県情報システム工業会
後援（予定）　総務省　福井県　福井県教育委員会　福井商工会議所
福井大学　福井工業大学　福井工業高等専門学校
NHK 福井放送局　FBC　福井テレビ　福井県機械工業共同組合
大会概要　　市販ロボットキット等を活用し、蟹をイメージする自作のロボットで競技に挑戦する。
対象は小・中学生とし、歩行部門(小中学生)と車両部門(小学生)とする。

第１回ご当地こどもロボコン全国大会

開催日　　令和７年１月開催予定
会　場　　サンドーム福井（予定）
主　催　　福井県こどもプログラミング協議会
共　催　　(一社)福井県情報システム工業会
後援（予定）　総務省　福井県　福井県教育委員会　福井商工会議所
福井大学　福井工業大学　福井工業高等専門学校
NHK 福井放送局　FBC　福井テレビ　福井県機械工業共同組合
大会概要　　各地の産業や特産品をモチーフとしてロボットコンテスト。
基本的なルールは越前がにロボコンと同様とする。

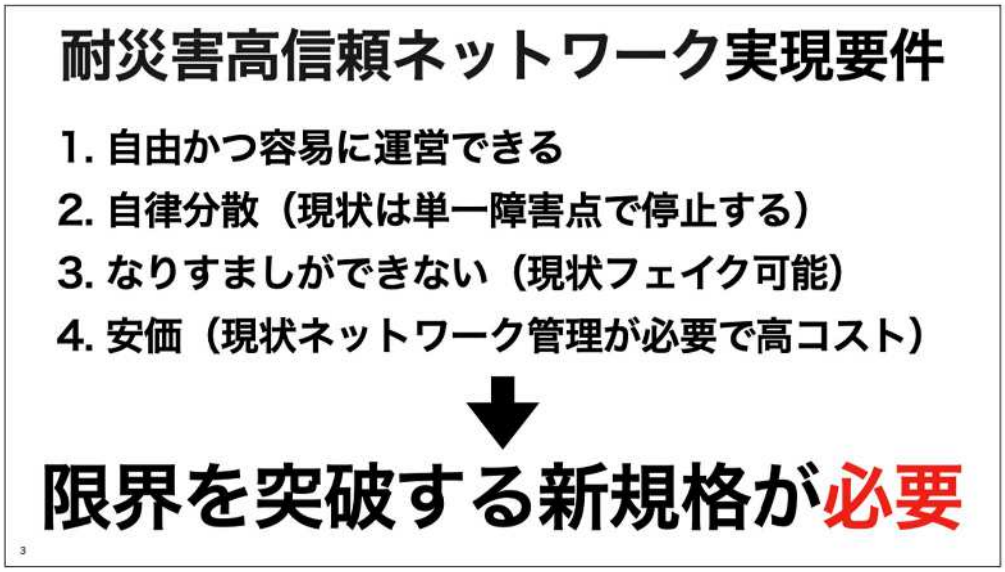
● ゼロトラスト委員会

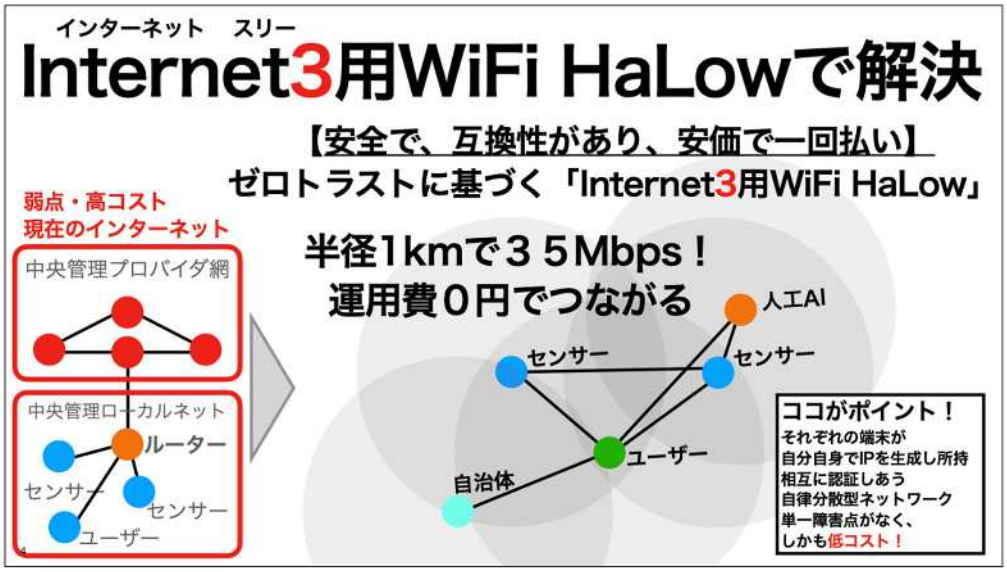
2019 年 1 月に日本政府 2007 が提唱した「DFFT」は G7 での議論が予定され、2022 年 4 月、アメリカから発表された「未来のインターネットに関する宣言」は、日本を含む 61 の国や地域が署名、デジタル社会を迎えるにあたって既存のインターネットセキュリティを見直す必要性が急務となっている。

その実現、社会への普及の鍵となる、2020 年 8 月発表、アメリカ NIST SP800-207「ゼロトラストアーキテクチャ」を理解し、その実装である「Internet3」の応用を通じて、福井発の新事業創出を狙う。

北陸デジタルインフラ強靭化計画

総務省の 10/10 補助事業、地域デジタル基盤活用推進事業を活用し、ゼロトラストによる新しいインターネット活用方法を実証し、能登復興、インフラ強靭化ビジネスとしての福井発技術の拡大を目指す。





○ 実現するもの

ハードウェア

電信柱に Internet3 用 WiFi HaLowAP 設置（カメラ＋蓄電池＋太陽光パネル）

ドローンによる遠隔ルーティング（StarLink に頼らない災害時ネット）

ソフトウェア

ダッシュボードアプリ（行政用、住民用、企業用）

自律運用型、安否情報システム

○ 実現体制（構想）

コネクトフリー（Internet3 用 WiFi HaLow 提供、代表団体予定）

金沢大学融合研究域（企画検証）

北陸電力（設置協力）

江守情報（ソフトウェア開発）

ユニコシステム（インテグレーター）

福井高専（災害研究を元にしたセンサー設置場所）

三井物産（マネジメント）

福井県庁（協力）

福井市役所、鯖江市役所、越前市役所（協力予定）

福井県情報システム工業会（事務局）

○ スケジュール・推進体制

4/17 公募締め切り、5 月下旬採択決定

オンライン（Signal）、オフライン（月一イベント、サイバーフライデー）

● ＡＩ委員会

以下の内容を技術部会の枠組みと重ねて実施する。

1. AI 勉強会

セミナー開催。アンケート希望最多の「OpenAI 等の LLM の API 利用」というテーマは、AI＆IoT の「生成 AI テクノロジーイベント」での対応とするか、別途開催するか検討。
（その他「昨年同様の大規模言語モデル全般について」「ソフトウェア開発工程への LLM の応用」も検討）

2. 企業等の視察（FAS 技術部会主催 企業視察を兼ねる）
近隣県の日帰り想定で AI の取り組みをしている企業を探しての視察。
（ない場合は、産総研・福井大学・北陸先端科学技術大学院大学/JAIST も含めて検討）

3. AI＆IoT コンソーシアムへの参画
- 6 月 7 日（金）14 時 45 分～ 生成 AI テクノロジーイベント
（福野 渉外部会長 登壇の AI&IoT 開発ハンズオンも）
- 平成 7 年 2 月末頃開催、AI＆IoT コンソーシアム シンポジウム後援・支援
- コンソーシアム各 WG（LLM、AI&IoT 分散システム・最適化、ディープラーニング組み込み実装、衛星データ解析利活用）の活動への協力

4. その他
- 技術者参加の、座談会のようなイベントの検討
- オンラインコミュニケーションツールの再検討（MS Teams 再挑戦か、有償でも別のツール活用の検討）

正味財産増減計算書

2023年4月1日～2024年3月31日

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ一般正味財産増減の部			
1経常増減の部			
(1)経常収益			
入会金収入	50,000	0	50,000
正会員入会金	50,000	0	50,000
会費収入	7,200,000	7,080,000	120,000
正会員A会費	4,398,000	4,398,000	0
正会員B会費	2,280,000	2,160,000	120,000
正会員C会費	120,000	120,000	0
正会員D会費	162,000	162,000	0
協賛会員会費	240,000	240,000	0
事業収入	8,880,400	7,920,800	959,600
援助金	146,000	146,000	0
受託事業	0	0	0
受託事業	8,265,400	7,774,800	490,600
補助金	469,000	0	469,000
蟹ロボコン	0	0	0
その他	0	0	0
雑収入	179,392	296,136	−116,744
受取銀行利息	145	136	9
諸会合会費	134,800	23,000	111,800
事務受託費	0	0	0
その他	44,447	273,000	−228,553
経常収益計	16,309,792	15,296,936	1,012,856
(2)経常費用			
管理費支出	8,104,558	7,928,610	175,948
給与・手当	4,108,800	4,108,800	0
法定福利費	727,170	673,466	53,704
福利厚生費	130,564	141,507	−10,943
会議費	1,112,136	1,124,642	−12,506
賃借費	367,710	355,080	12,630
通信運搬費	156,707	153,919	2,788
支払手数料	16,720	13,640	3,080
印刷製本費	348,534	438,660	−90,126
旅費交通費	92,520	27,120	65,400
消耗品費	71,752	27,890	43,862
設備費	0	0	0
負担金	556,500	559,500	−3,000
指導料	105,600	105,600	0
諸謝金	0	0	0
広告費	66,000	0	66,000
租税公課	11,000	10,600	400
減価償却費	184,345	162,648	21,697
慶弔費	10,000	20,038	−10,038
諸会費	0	0	0
廃棄損	0	0	0
雑費	38,500	5,500	33,000
部会費支出計	440,080	260,291	179,789
渉外部会費支出	31,820	20,900	10,920
部会費	0	0	0
理事会セミナー費	11,520	15,400	−3,880
例会機器借料	2,600	5,500	−2,900
例会会議費	17,700	0	17,700
事業活動費	0	0	0

科　　目	当年度	前年度	増　減
総務部会費支出	199,470	150,666	48,804
部会費	1,470	0	1,470
理事会セミナー費	0	0	0
例会機器借料	0	0	0
例会会議費	0	0	0
事業活動費	198,000	150,666	47,334
技術部会費支出	66,090	76,585	−10,495
部会費	0	0	0
理事会セミナー費	13,200	15,400	−2,200
例会機器借料	2,240	5,500	−3,260
例会会議費	20,650	0	20,650
事業活動費	30,000	55,685	176,740
人材確保・育成部会費支出	142,700	12,140	130,560
部会費	0	2,410	−2,410
理事会セミナー費	15,400	7,730	7,670
例会機器借料	5,500	2,000	3,500
例会会議費	121,800	0	121,800
事業活動費	0	0	0
事業費支出計	7,876,804	6,691,305	1,185,499
蟹ロボコンテスト委員会支出	170,000	100,000	70,000
運営費	70,000	0	70,000
補助金	100,000	100,000	0
DXラボ運営委員会支出	7,307,804	6,591,305	716,499
人件費	7,180,872	3,508,135	3,672,737
WEB保守	38,920	38,610	310
アジャイル研修	0	2,088,680	−2,088,680
学生交流イベント	0	804,110	−804,110
独自提案	49,720	108,680	−58,960
運営費	38,292	43,090	−4,798
管理費	0	0	0
その他委員会支出	0	0	0
委託費	0	0	0
会場費	0	0	0
機器借料	0	0	0
事務費	0	0	0
その他支出	0	0	0
人材の高度化補助金支出	399,000	0	399,000
事務費	0	0	0
補助金	399,000	0	399,000
経常費用計	16,421,442	14,880,206	1,541,236
当期経常増減額	−111,650	416,730	−528,380
2経常外増減の部			0
(1)経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
特別引当金取崩し額	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
当期一般正味財産増減額	−111,650	416,730	−528,380
一般正味財産期首残高	13,496,913	13,080,183	−1,872,526
一般正味財産期末残高	13,385,263	13,496,913	1,955,267
Ⅱ指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ正味財産期末残高	13,385,263	13,496,913	−111,650